

# 入院のしおり

Hospitalization Guide



# 札幌西円山病院の理念

親切

丁寧

敬愛

1. 患者さんの人権を尊重し、患者さんとそのご家族に信頼され、選ばれる病院を目指す。
1. ひとりひとりの患者さんにふさわしい、質の高い保健・医療・福祉サービスを提供する。
1. 生涯学習を実践し、人間性と技術の向上につとめ、専門医療およびチーム医療を推進する。
1. 保健・医療・福祉活動の基盤となる環境の保全と活動内容の情報提供につとめ、地域社会に貢献する。

## 患者さんの権利と責務

1. 患者さんの人権を尊重した適切で良質な医療・ケアを受けることができます。
2. 親切・丁寧・敬愛をモットーとしたケアを受けることができます。
3. 医療・ケアの方針について必要な選択肢の情報を得て、自ら医療・ケアの方針を選択することができます。また、その方針についてセカンドオピニオンとして他の医療機関の医師の意見を聞き、相談することができます。
4. 個人情報とプライバシーを保護される権利があります。
5. 提供される医療・ケアについて、情報の開示を求めることができます。
6. 病院職員と協力・協同して医療に参加していただきます。また、医学研究や治験への参加をお願いすることがありますが、これに同意できない場合に不利益を被ることはありません。
7. 集団での入院生活ですので、周りの患者さんにもご配慮いただきます。

## 臨床倫理方針

1. 患者さんの人権と意思決定を尊重した医療・ケアを提供します。
  - ・患者さんの人権と意思決定を尊重し、十分な説明と同意(インフォームドコンセント)を得ます。
  - ただし、意思の疎通ができない患者さんの場合は、ご家族など代理人の同意にて医療・ケアを提供します。
2. 医学的適応を確認し、適切で良質な医療・ケアを提供します。
  - ・どのようにして危害を避け、医療による恩恵を患者さんにもたらすことができるかを常に考えます。
3. QOL(生命・生活・人生の質)を考慮に入れた医療・ケアを提供します。
  - ・患者さんの病歴、診断、予後予測から治療目的を設定し、最も適切と思われる医療・ケアを提供します。
4. 患者さんと職員とが協力・協同して、患者さん中心の公正・公平な医療・ケアを提供します。
  - ・これまでの生活歴、職歴、経済状態、思想・信条・宗教などについても考慮します。
  - ・医療資源は公正・公平に患者さんに配分します。

# よりよい医療を提供するために

## 1 | 療養場所について

当院は2種類の病棟(障害者施設等一般病棟、回復期リハビリテーション病棟)と1施設(介護医療院)を有し、様々な状態の方を受け入れておりますが、病棟ごとの特色や医療制度上の対象患者像などから主治医の判断に応じて適切な療養場所(入院病棟)をご案内しております。療養場所につきましては、病状の改善または安定による当院からの退院はもちろんですが、状況に合わせて他病棟へ移動(転棟)していただく場合や、病棟内での部屋移動もございます。また、必要時には専門病院へ転院となることもございます。なお、他病院への転院治療後の再入院においては、別の病棟へ入院となる場合もございますので予めご了承ください。また、転棟は病状に合わせて行うため、移動のご連絡の当日にご移動いただくこともございますが、転棟先の病棟でも必要な診療やケアを引き続き行いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 2 | 身体拘束について

身体拘束は人としての尊厳を侵し生活に不自由をもたらし、また本来の生体機能を低下させ、患者様のQOLを根本から損なう危険性を有しています。当院では、親切・丁寧・敬愛の理念のもと、高齢者のもてる力を生かし、寄り添う医療、看護、介護を目指しています。個々の患者さんの心身の状態を丁寧にアセスメントし、身体拘束を必要としない状況を作り出す方向を追求したケアの提供に努めます。

患者さんの生命または身体を保護するため、緊急やむを得ない場合に限り、身体拘束を行う可能性があります。切迫性(本人または他の人の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと)、非代償性(身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替える方法がないこと)、一時性(身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること)の3つの要件を満たし、かつ患者さんやご家族に説明し、その経過を正確に記録するなど、慎重に手続きを行います。

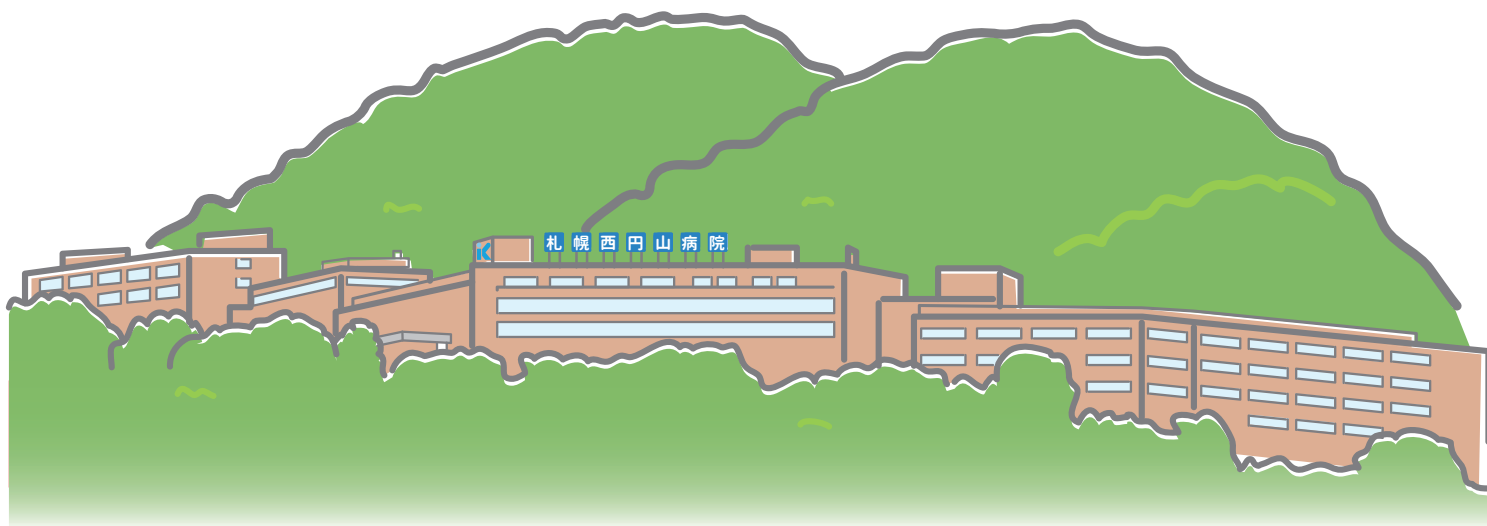
### 3 | 診療並びに療養に際しての合併症や事故について

高齢者医療や慢性期医療の現場では、日常生活に支障をきたすほどの生活機能の低下が頻繁に見られます。このような患者さんへの診療は、投薬だけでなく、機能維持や回復のためリハビリやケアも重要な位置を占め、私たちは各職種がひとりひとりの患者さんの状態に合わせた集約的な診療を常に心がけています。しかし、不幸にして合併症や事故が起きれば、もちろん治療には最善を尽くしますが、死に至ることもあり得ます。予想される重大な合併症については事前にご説明いたしますが、きわめて稀なものや予想外のものもあり、全ての可能性を説明し尽くすことは困難です。

このような可能性があることを承知したうえで、各種の同意書に署名をいただきたいと思います。疑問があるときは、ご納得がいくまで主治医に質問をしてください。ご納得できない場合は、他の医療機関の専門医師の意見をセカンドオピニオンとして聞くことができますので、担当のソーシャルワーカーにお声かけください。

### 4 | 当院から患者さん・ご家族へのお願い

社会通念上の常識から逸脱するご要望にはお応えしかねることもございます。大声、暴言、脅迫的な言動や、暴力やセクシャルハラスメントなどの迷惑行為、職員の業務の妨げとなる行動を繰り返すなどの場合は、警察への届出や強制退院または病院への出入り禁止などの強制措置を講じることもございます。



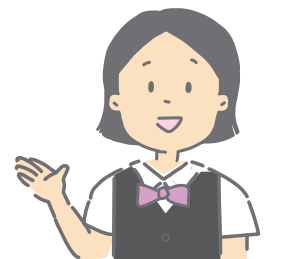
# 入院当日のご案内



入院当日に、医師・看護師より病気や治療(看護・リハビリなど)の説明がございます。

## 1 | 入院の手続きについて

総合受付(正面玄関より入って右側)に以下のものを提出し手続きをお取りください。



- 入院申込書 兼 誓約書
- 健康保険証
- 後期高齢者医療被保険者証
- 限度額適用・標準負担額減額認定証
- 介護保険被保険者証
- 介護負担割合証
- 重度心身障害者医療費受給者証
- 特定疾患医療費(指定難病)受給者証
- 退院証明書  
(前医からお預かりの方のみ)
- 身体障害者手帳

※保険証は月初めと内容変更時には総合受付へご提示願います。

## 2 | 病棟へお持ちいただくもの

● 入院にあたり、日用品として次の物をご用意ください。

- 洗面道具(歯ブラシ・歯磨き粉・うがい用コップ・義歯ケース・義歯洗浄剤・ヘアブラシ・電気かみそりなど)
- 履き物(ゴム底などの滑りにくいもの。脱ぎ履きしやすく、かかとが収まる運動靴など)
- 現在服用している薬(お薬手帳もお持ちください)
- 診療情報提供書(紹介状)



※日用品については、ご希望される方には当院で用意した、床頭台、テレビ、冷蔵庫、フェイスタオル、おしぼり、バスタオル、ティッシュ、日常生活衣、下着用シャツ、パンツ、靴下をご利用いただくことができます(有料)。

※洗面器、シャンプー、ボディソープは当院にてご用意しているものがございます(無料)。

※ご自分のものを使用されたい場合はご持参いただき、持ち物にはすべてお名前を記入してください。

※ハサミ・果物ナイフ等の危険物の持ち込み、その他療養生活上不要な物の持ち込みはご遠慮ください。

※オムツは当院で用意したものの利用を推奨しております(有料)。利用には別紙同意書をご参照ください。

# 入院中の生活について



## 1 | 日課 (例)



## 2 | 面会

対面でのご面会、またはスマートフォン・タブレット・パソコン等を用いたオンライン面会につきましては、感染症の流行状況に合わせて実施の可否や面会方法を随時検討しております。実施状況につきましては、病院からのご案内文書やホームページをご確認ください。

また、正面玄関は平日(夜8時～翌朝7時まで)および土日祝日(終日)は施錠しておりますので、この時間帯は夜間通用口をご利用ください。

## 3 | 外出・外泊

外出や外泊は医師の許可が必要です。届け出用紙をご用意しておりますので、必要事項をご記入の上、病棟職員にご提出ください。なお、外出時に移動手段、福祉用具の利用などご不安な点がございましたら、担当医療ソーシャルワーカーへお気軽にご相談ください。

## 4 | 喫煙・飲酒

「健康増進法」に基づく受動喫煙防止対策の施行により、医療機関を含めた公共施設での喫煙管理が求められています。当院においても患者さんの医療環境を守るため、建物および敷地内全面禁煙となっております。また、飲酒につきましてもご遠慮いただいておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

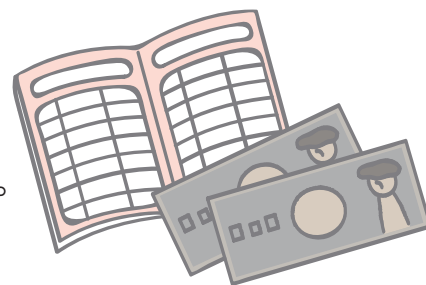
なお、入院中の喫煙目的での外出は許可しておりません。

## 5 | お小遣い帳

現金はお小遣いとして総合受付に預けることが可能です。お預かりした現金はお小遣い帳にて管理し、病院内での買い物は、お小遣い帳から都度引き落としさせていただきます。なお、お小遣い帳の明細は、入院費の「請求書兼領収書」と一緒に郵送いたします。病院内でお小遣い帳から支払いのできるものは、セイコーマート・理美容室・福祉用具(車椅子や靴など)・クリーニング・新聞代が対象となります。また、入院費をお小遣い帳から支払うことは原則できませんのでご了承ください。なお総合受付にて現在の預かり金残高を確認することができます。入金および出金時間については以下の通りです。

**<入出金> 9:00 ~ 17:00 (平日のみ)**

土日祝日および夜間の返金対応はしていません。  
退院後の返金は現金書留でご郵送させていただきます。  
詳細は経営管理部医事課までお問い合わせください。



## 6 | 電話

### 携帯電話・スマートフォンの使用について

#### 1. 使用可能エリアについて ※詳細は各エリアに掲示されている「電子機器使用エリア」に従ってください。

場 所	通 話	メール・Web等	エリアごとの留意事項
食堂、ロビー、待合室、廊下、患者・ご家族休憩室等	○	○	
病室(個室)	○	○	
病室(多床室)	×	○	・他の患者さんへの配慮のため、通話は禁止とします。
検査室、治療室、診察室、リハビリ室	×	×	・電源を切るか、電波を送受信しないモードにしてください。

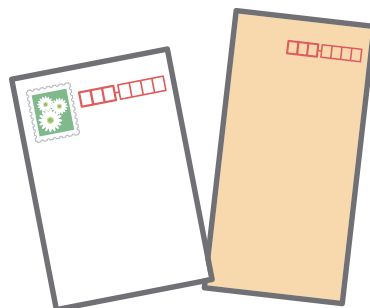
#### 2. 使用時の注意事項

- ①院内では着信音が鳴らないようマナーモードに設定して使用してください。
- ②医療機器等から1メートル以上離して使用してください。
- ③ペースメーカー装着者等に配慮して使用してください。
- ④通話の際は周囲に十分配慮して使用してください。
- ⑤消灯時間中の使用は控えてください。
- ⑥事故防止のため、歩きながら使用しないでください。
- ⑦患者さんや職員のプライバシー保護のため、写真・録音・ビデオ機能は原則使用しないでください。なお、本人の承諾あるいは病院の許可を得た場合はこの限りではありません。また、インターネットやSNS等による公開はしないでください。
- ⑧院内無料Wi-Fiをご利用いただけます(利用時間:9:00~21:30)。
- ⑨他の患者さんや医療業務に影響が出る等の理由で使用を控えるよう指示があった場合は使用しないでください。



## 7 | 郵便

ポストは正面玄関前にごございます。なお切手・はがきはセイコーマートにて販売しておりますのでご利用ください。また患者さんへの郵便物を送る際には、宛名を「**札幌西円山病院□□病棟内△△様**」としていただきますようお願いいたします。

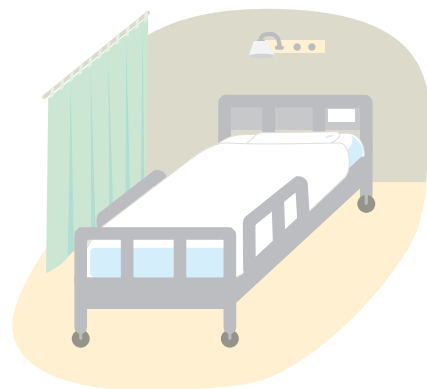


## 病棟・病室について



### 1 | 病室について

院内には4人部屋、3人部屋、2人部屋、個室、特別室(有料)がごございます。入院される病棟ごとに用意している部屋数が異なり、患者さんの状態に合わせてご案内しております。特別室は、**個室1室(5,000円/日)**、**個室3室(10,000円/日)**、**2人部屋6室(5,000円/日)**となっております。空室状況につきましては、都度ご確認ください。なお、特別室はご希望される方が優先となりますのでご了承ください。



### 2 | 貴重品管理について

理容室やセイコーマートを利用する際にはお小遣い帳をご利用いただき、盗難防止のため貴重品や多額の現金はお持ちにならないでください。なお、床頭台の貴重品ボックスを使用される際は職員にお申し出の上、必ず施錠し、患者さんまたはご家族が管理するようお願いいたします。万が一紛失した際には、当院としては責任を負いかねますのでご了承ください。



# 院内設備について



## 1 | レストラン

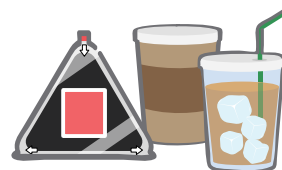
東棟5階にレストランがございます。お見舞いの方などご自由にご利用いただけますが、患者さんの飲食は病状等によりご遠慮いただく場合がありますので必ず病棟にご確認ください。

**営業時間** レストラン 11:00～14:00 (平日・土曜日営業/年末年始除く)

## 2 | セイコーマート

東棟5階にございますのでどうぞご利用ください。

**営業時間** 8:30～18:00 (年中無休) ※年末年始は営業時間を変更する場合がございます。



## 3 | ATM

中央棟4階に北洋銀行ATMを設置しておりますのでどうぞご利用ください。

**稼働時間** 7:00～21:00 (全日) ※最新情報は北洋銀行ホームページをご確認ください。

## 4 | 洗濯機・乾燥機(コインランドリー)

中央棟7階(サンルーム)と東棟3階に洗濯機・乾燥機を設置しております。1回洗濯機200円・乾燥機100円/30分となっております。洗剤は売店でお求めいただくか、ご自身でご用意くださいますようお願いいたします。

※クリーニングを委託業者へ依頼することもできますので、ご希望の方は病棟職員までお声掛けください。その際の支払いはお小遣い帳から引き落としいたします。

## 5 | 理美容室

東棟5階に理美容室があります。(病室から車椅子での送迎もいたします) お申込みは病棟職員までお願いいたします。

**営業時間** 月～金 9:00～18:00 土 9:00～14:00

**定休日** 毎週日曜日・祝祭日

## 6 | 駐車場

駐車台数に限りがあり、状況によってはお待ちいただく場合もございますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。地下鉄円山公園駅から無料送迎バスもご用意しております。なお、お車で越しの入院患者さんにおかれましては、入院中の駐車はお控えくださいますようお願いいたします。

# 入院費のお支払いについて



## 1 | 会計

- 入院費につきましては、それぞれの保険の種類により算定し、ご請求いたします。
- 請求は月末締めとし、翌月10日過ぎに“請求書兼領収書”を郵送いたしますので、25日までにお支払いください。
- 退院日が土日祝日に当たった場合は当日精算できません。後日請求書を郵送させていただきます。
- お支払方法は ①現金支払 ②クレジットカード支払 ③現金書留 ④銀行振込 ⑤郵便振替 ⑥口座振替 がございます。詳細については、“請求書兼領収書”裏面の『医療費のお支払いについてのご案内』をご覧ください。

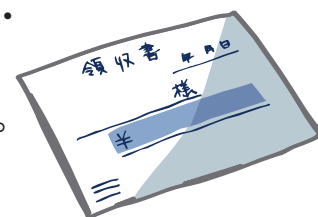
※ ①②は平日のみ9～17時まで受け付けております。

※ ④⑤の場合は別途領収書を発行しておりません。領収書が必要な場合は、送付された“請求書兼領収書”を総合受付までご提示(またはご郵送)ください。

※ ⑥は総合受付までお申し込みが必要です。

【当月上旬：振替案内送付】 ⇒ 【当月27日引落し(土日祝の場合は翌平日)】 ⇒ 【翌月上旬：領収書送付】  
の流れとなっております。

- 支払期限を超えた場合は、身元引受人様へ電話またはお手紙等で督促を実施させていただきます。その後、3ヶ月分を滞納した場合は、連帯保証人様へ電話またはお手紙等で督促を実施させていただきます。その後もお支払いがなく、悪質と判断した場合は法的手続きを開始させていただきます。
- お支払い済みの領収書は所得税の医療費控除を申告する際に必要です。領収書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- 月に一度、保険内容の確認のため、総合受付に健康保険証・各種受給者証の提示をお願いいたします。  
また、保険証が更新された場合は速やかにご提示願います。



## 2 | 限度額適用認定証とは

あらかじめ「限度額適用認定証」の交付を受け、当院に提示していただくことで、医療機関ごとにひと月の支払額が自己負担限度額までとなります。加入されている健康保険の保険者に交付申請をしてください。ご不明な点は医事課までお問い合わせください。

※食事代や保険適用とされない費用(差額ベッド代など)は別途お支払いが必要です。

支払いに関するお問い合わせ先 経営管理部 医事課 TEL (011)644-9230

# 当院の取り組みについて



## 1 | リハビリテーション

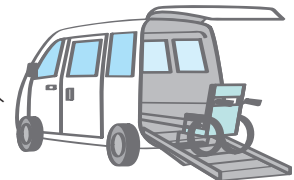
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の他、レクリエーションワーカー、音楽療法士、健康運動指導士を配置して、その方に必要なリハビリテーションを実施しております。回復期リハビリテーション病棟に入院されている全ての方と神経内科病棟での必要のある方には365日リハビリテーションを提供しております。維持期のリハビリテーションでは生活能力を維持すると共に、少しでも張り合いのある療養生活を送れるよう工夫しています。全ての職種がチームとなって予防期から終末期まで一人ひとりに寄り添い、各々に適した方法でその人らしい生活を送れるようお手伝いさせていただきます。

## 2 | 療養・退院支援

患者さん個々の治療・療養計画をより充実したものとするため、医師からの病状説明やカンファレンスを行っております。患者さんはもとよりご家族の皆様にもご出席をお願いしておりますので、ご協力をお願いいたします。なお、緊急でない場合の病状等の説明は、原則、平日の時間内(8:45～17:15)とさせていただきます。説明やカンファレンスを通して患者さんのご意向を伺う機会を設け、入院中の生活、退院後の生活、外出・外泊など、患者さんの「○○したい」を応援いたします。

### 外出 たまには気分転換したい

長期の入院はやはりストレスがたまるものです。院外への外出で気分転換しませんか？移動手段・福祉用具利用等お手伝いいたします。



### 外泊 お正月は家族で迎えたい

入院中もお正月やご家族の記念日・お孫さんの結婚など、医師の許可があれば外泊もできます。お体の状態に合わせて外泊してみませんか？安心して外泊できるよう職員がサポートいたします。

### 自宅退院 住み慣れた自宅で生活したい

いざ退院となっても、ご自宅の状況によっては生活ができません。例えば介護保険制度等を利用することで、ご自宅の環境を整えたり、必要に応じ介護や看護、リハビリのサービスを利用することで、安心した生活を送れるようお手伝いいたします。

### 施設退院 “病院”ではなく、“生活の場”で楽しく生活したい

ご家族やご自宅の環境が退院に適さないが病院での療養の必要が少ない等、ご自宅以外の生活場所を探すことが必要なこともあります。特別養護老人ホームやグループホーム等施設への入所や、サービス付き高齢者向け住宅等への入居にむけて一緒にご相談し生活の場への移行をお手伝いいたします。

### 看取り退院 ずっとは無理でも…最期だけは自宅で迎えたい

ご自宅で最期を看取ることができるよう訪問診療や訪問看護をはじめとしたサービスを導入し患者さん・ご家族の負担を和らげ、安らかに最期の時を過ごす事ができるようお手伝いいたします。



## 在宅生活を支える活動・・・・・・・・・・・・・・・・

### ① 医療のこと

#### ●外 来

当院では、内科・神経内科・老年内科・歯科の他、外来リハビリテーションや生活習慣病、飲み込みに不安がある方を対象とした外来を開設しています。退院後の体調の不安にもお応えいたしますので、お気軽にご受診ください。また、急性期治療が必要な場合は、同法人の急性期病院をご紹介します。

### ② 介護のこと

#### ●居宅介護支援事業(ケアマネジメント)

在宅で療養生活を送られる高齢者の方を対象に、介護支援専門員(ケアマネジャー)がご自宅での介護相談や介護保険サービスを受けるために必要な介護認定の代行申請など、在宅での生活を総合的にサポートします。

### ③ 地域の方が集う場

#### ●医療公開講座 ●認知症カフェ ●認知症サポーター養成講座

当院の医療・介護専門職が、地域で暮らす高齢者の方にお役立ていただける情報を、講座形式でお伝えします。また、認知症の方やご家族が、お茶を楽しみながら交流ができるカフェを開設しています。

どちらも月1回程度の開催ですので、詳細はお問い合わせください。



**お問い合わせ先** つながる地域サポート部 TEL (011)642-4121 (代表)

## 3 | ジェネリック医薬品

### 札幌西円山病院ではジェネリック医薬品(後発医薬品)の使用を推進しています。

当院では、患者さんの負担軽減と日本の未来を見据えて国の医療費削減に寄与すべく、院内で採用している先発医薬品を後発医薬品に変更を行い、積極的な後発医薬品の使用推進を行っています。

後発医薬品の選定は、お薬をお飲み頂く、患者さんの安心・安全を第一に考えております。このため当院における医薬品の適正使用を推進する薬事委員会にて審議を行い、後発医薬品への変更を行っています。

是非、当院の趣旨をご理解頂き、後発医薬品の使用推進にご理解とご協力をお願いいたします。

患者さんが入院された際、薬剤師が後発医薬品の使用推進についての説明をさせていただきます。

尚、後発医薬品への変更に際して、ご不明な点はお気軽に、当院の医師または薬剤師にお問い合わせください。

**お問い合わせ先** 薬事委員会 事務局(薬剤部)

TEL (011)642-4121 (代表)



# ボランティアについて

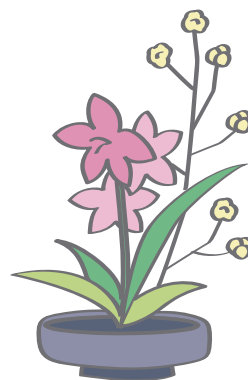


## 札幌西円山病院ボランティアグループ「銀の舟」について

ボランティアグループ「銀の舟」は、'85年11月に発会。単に「介助をする」という考え方ではなく、当院の患者さんを対象に「支え合い、学び合う精神」を大切にし、ボランティア活動を行うグループとしてスタートしました。定期的な趣味活動の他に、年間行事を開催し、患者さんに院内でより充実した生活を送っていただくよう、努力しております。

### 1 | 各種教室

生け花・書道・詩吟・陶芸・朗読を聴く会 他、ボランティアによる各種教室への送迎も行っております。



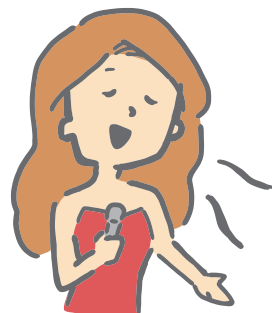
### 2 | 喫茶室「ひまわり」

東棟3階で患者さん専用の無料喫茶室を運営しております。ご家族・ご友人とおしゃべりや読書をお楽しみください。

**利用時間** 10:00 ~ 11:45 (年末年始を除く)

### 3 | ロビーコンサート

院内でコンサートを開催しております。開催日などのご案内は、正面玄関や各病棟・送迎バス内に掲示しております。



### 4 | 行事活動

桜まつり・夏祭り・病院祭兼バザー・外出レク・お正月行事など四季折々の様々な活動を行っております。

### 5 | その他

お話し相手、歌レク、囲碁、将棋、ハーモニカなどを行っております。

# ご相談は医療ソーシャルワーカーへ



## 医療ソーシャルワーカー（相談員）

当院では患者さんのご家族の療養上の不安、社会制度全般にわたる相談に応じる医療ソーシャルワーカーを配置しております。



- 病気や療養生活の不安
- 医療費・生活費の心配
- 身体障害者手帳、傷病手当金、障害年金などの社会福祉サービス活用
- 福祉用具の購入
- 自宅への退院や施設入所などのご相談
- 介護保険の代行申請や利用の相談
- 苦情対応

上記の他にも様々なご相談をお受けしております。患者さんの「**こうしたい**」「**こうありたい**」というお気持ちをお話してください。なおご相談により知り得た情報は秘密を厳守いたします。(患者サポート体制充実加算を取得しております。)

**受付時間** 午前8時45分～午後5時15分

**TEL (011) 644-1380** (東棟3階 医療福祉相談課)

## その他



### 1 | 院内投書箱

広く皆様からのご意見をいただくために「院内投書箱」を2ヶ所(総合受付前、外来受付前)に設置しております。投書いただいた内容や回答は定期的に家族休憩室で閲覧できるようにしておりますので、お気づきのことがございましたらご遠慮なく投函ください。(掲示の際には、個人が特定されないよう配慮しております)

### 2 | 患者さんご家族との交流会

健康に関することなどの身近な話題、医療制度の改正や地域から求められる当院のあり方などをお伝えすることのほか、入院患者さんのご家族から直接の声を伺う場として、患者家族会を開催しております。

ご家族の皆様との定期的な情報交換の場を作り、病院運営に役立てております。



### 3 | 職員へのお心遣い

当院は「心づけ」「お届け」等は、ご事情や状況に関係なく(菓子類等含め)一切お断り申し上げますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

# MEMO



A series of 20 horizontal lines for writing, spaced evenly down the page.



医療法人 溪仁会  
**札幌西円山病院**

〒064-8557 札幌市中央区円山西町4丁目7-25

入院・医療相談窓口



**0120-021-240**

TEL (011) 642-4121 (代) / FAX (011) 642-4291  
URL: <https://keijinkai.com/nishimaruyama/>  
E-mail: [msh-n@keijinkai.or.jp](mailto:msh-n@keijinkai.or.jp)

